



メタセコイヤ



東広島市立風早小学校 学校だより No. 6
令和8年10月15日

文責：校長 竹野 政彦

後期スタート！「挑戦」

10月15日、今日から後期がスタートしました。児童は、後期の行事や新たな課題に対し、「こんなことに！」「こんなふうに！」とイメージをもち、期待を膨らませていました。

先日の前期終業式では、校長先生から次のようなことが「しっかりできていました。」あるいは「できるようになってきました。」といった話がありました。

- 1年生 …先生の話をよく聞くこと
- 2年生 …人に優しくしたり教えたりすること
- 3年生 …友だちと明るく仲良くすること
- 4年生 …みんなでまともって頑張ること
- 5年生 …人のために行動すること
- 6年生 …リーダーとしてのプライドと自覚をもつこと

始業式では、これらの学級の良さを生かしながら、助け合って挑戦していこうといった話がありました。保護者の皆様、後期もよろしくお願いします。



地域に支えられて！



1・2年生は生活科、3・4・5・6年生は総合的な学習の時間、そよかぜ学級やさざなみ学級は生活単元学習・自立活動で、地域の皆様には、大変お世話になっています。

本校は、今年度、「地域に問い、未来を拓く、課題解決に本気で挑む児童の育成」をテーマに、児童の自己調整力の向上に取り組んでいます。小学生なりに地域の課題や人々の思いに触れ、当事者意識をもって「問い」を見付け、地域の方、本物との出会いにより、問いを更新しています。

地域の方、地域センター、図書館、びわ、牡蠣、じゃぼん、神賑行列、箏、「風早の轍」…など、各学年がそれぞれの問いを創造し、課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を繰り返しながら、自分も地域の一員として意識し、考え、取り組むことで風早への地域愛を深めています。

びわのおいしさを広めよう！

3年生は、ふれあい市でインタビューして収集した安芸津のびわに関する情報を整理しました。

9月17日（木）、「もっと広めたい。」といった生産者の思いを考え、自分たちができることを話し合いました。たくさんの先生方の前で意見を出し合いました。



幻の果実、「じゃぼん」に込められた思いを探ろう！



4年生は、幻の果実、安芸津のじゃぼんについて調べました。その後、作っている方や販売している方の思いや考えを聞きました。

10月7日（水）、生産者、販売者、消費者の立場を考え、どんな方法で魅力を伝えていくことができるか、みんなで話し合いました。



風早の良いところ！

そよかぜ学級とさざなみ学級の児童が、9月18日（金）に自立支援センターつばさを訪問し、仕事を体験させていただきました。その際、利用者や職員の皆様に「風早のよいところを教えてください。」と尋ねると、皆様からは「風早の人は、みんな優しい。」「みんな挨拶をしてくれる。」などと教えてくださいました。

さらに、そよかぜ学級・さざなみ学級は、全校児童に風早の良いところアンケートを取りました。全校児童からは、地域の方の優しさ、飛び交う挨拶、仕事に励む地域の方、美しい自然、美しい万葉火、万葉歌碑、伝統の神賑行列、おいしいびわ、おいしい牡蠣、幻の果実じゃぼん、ほくほくのじゃがいも、メタセコイヤ、そして、挑戦する学校とたくさんの良さが集まりました。



校長室からちょこっと！

後期がスタートしました。

終業式、始業式で児童に伝えましたが、学年ごとにすてきな集団に成長しています。児童は自分のことからだんだんと相手を意識した言動が増えてきました。成長すればするほど、コミュニケーションの悩みも増えてきます。自分の思いばかり主張すると友だちからの信頼は得られず、友だちに合わせてばかりいると自分の思いを抑えてばかりになります。相手も自分も大切にすることを考えなければなりません、折り合いをつけることは難しいです。

学校には、集団と個の場面がたくさんあります。集団と個には「集団に支えられて個が育ち、個の成長が集団を発展させる」という相互作用があります。学校だからこそできること、集団だからこそできることがあります。一人一人の活躍を積み重ね、一緒に大きな喜びを感じること、仲間とともにたくさんの経験を通して成長していくことを願っています。

後期は、学習発表会などもあります。引き続き、児童の成長のためのサポートをよろしくお願いします。

